



2020年12月22日

各 位

会社名 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート
 代表者名 代表取締役社長 中山 義人
 (コード番号: 3850 東証第二部)
 問い合わせ先 取締役 管理本部長
 鈴木 誠
 TEL. 03-5549-2823

当社の親会社 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
 代表者名 代表取締役社長 本間 洋
 (コード番号: 9613 東証第一部)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年7月22日付に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,920	百万円 600	百万円 600	百万円 416	円 銭 85.92
今回修正予想 (B)	5,650 ~ 5,780	5 ~ 105	10 ~ 100	0 ~ 70	0.00 ~ 14.45
増減額 (B-A)	△1,270 ~ △1,140	△595 ~ △495	△590 ~ △500	△416 ~ △346	
増減率 (%)	△18.4 ~ △16.5	△99.2 ~ △82.5	△98.3 ~ △83.3	△100.0 ~ △83.2	
(ご参考) 前期実績 2020年3月期	6,915	720	722	525	107.13

(2) 2021年3月期通期個別業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 6,840	百万円 703	百万円 720	百万円 526	円 銭 107.37
今回修正予想 (B)	5,795 ~ 5,893	10 ~ 110	15 ~ 115	5 ~ 70	1.03 ~ 14.45
増減額 (B-A)	△1,045 ~ △947	△693 ~ △593	△705 ~ △605	△521 ~ △456	
増減率 (%)	△15.3 ~ △13.8	△98.6 ~ △84.4	△97.9 ~ △84.0	△99.0 ~ △86.7	

修正理由

2020年7月22日付けで発表した「2021年3月期通期連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）」につきましては、直近の受注状況などから新型コロナウイルス感染拡大による経済活動が7月以降緩やかに回復していくものと想定しておりました。

しかしながら、緊急事態宣言解除後の第二波、第三波の発生等、長引くコロナ禍の先行き不透明な状況から顧客企業の新たな設備投資意欲の低下や検討延伸が相次ぎ、当社グループにおいても影響が大きく現在の受注状況等を精査し、通期連結業績予想を修正することといたしました。

売上高については、主に新型コロナウイルス感染拡大による影響により、当初予想を下回る見込みです。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても、売上高の減少による減少、パッケージ事業におけるアフターコロナ、ウィズコロナを見据えた既存のソリューションの見直し及びサービス事業において不採算案件が発生したことなどにより、当初予想を下回る見込みです。

保守サービスやクラウド等のストックビジネスにおいては、コロナ禍の影響は限定的で堅調に推移しており、全般的に直近の受注について復調の兆しが見えてきているものの、多くは来期受注見込となることから、2020年7月22日付けで発表した業績予想を上記の通り修正いたします。

2021年3月期通期個別業績予想数値についても上記と同様の理由により修正いたします。

なお、アフターコロナ、ウィズコロナを見据えたうえで、以下の点に注力し、売上の回復に努めてまいります。

- ・ターゲット分野の見直し・強化（特にDX投資意欲の強い金融・公共分野の営業強化）
- ・クラウドサービス（Accel-Mart）への集中投資（ストックビジネスの収益をさらに拡大）

あわせて、事業体制について抜本的な見直しを図っており、来期については現状の課題を解決し、早期に当社収益に貢献すべく全力で取り組んでまいります。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 2020年7月22日発表	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 21.00	円 銭 21.00
今回修正予想	—	—	—	11.00	11.00
当期実績	—	0.00			
前期実績 2020年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00

修正理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けており、株主への利益還元と内部留保充実のバランスを総合的に判断し、業績と市場動向の状況に応じた柔軟な対応をとっております。2021年3月期の期末配当予想につきましては、年間配当予想額を1株当たり21円としておりましたが、前記の通期連結業績予想の修正を踏まえ、財務状況、配当性向等を総合的に勘案した結果、年間配当予想額を11円に修正させていただきます。

(注) 上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上